

2学期の終業式にあたって

校長 角井 弘之

皆さん、おはようございます。2学期の終業式にあたって、今日は12/25なので定番の言葉から始めたいと思います。「メリークリスマス」 例年とは全く違ったクリスマスになりましたが、コロナ感染予防には十分に努めながら楽しい時間を過ごして欲しいと思います。またそれに関わって、生徒会を中心に熱心に準備を進めてくれていた「クリスマスコンサート」を中止せざるを得なかったことを、この場を借りてお詫びしたいと思います。

振り返れば、本当に大変な一年でした。世界中の誰もが経験したことのない手探りの対応の連続でした。非常事態宣言によって2ヶ月に渡る臨時休業となり、6月からの授業再開、「新しい生活様式」によるコロナ感染予防、そして10月以降の様々なコロナ感染事案への対応など、先生方はもちろんのこと、君たちひとり一人の理解と協力、そして何よりも校内での感染予防対策の徹底のお陰で今日の終業式を迎えることができました。皆さんには、本当に感謝しています。HPやサプリでの急な連絡や、多くの学習課題の提出など、様々な負担をかけたけれども、一人ひとりがしっかりと確認し、出来る限りの学習と努力をしてくれたこと、、、やる時にはやる桂高校生の姿、「桂プライド」を感じる事ができました。今日の終業式を迎えられた安堵の気持ちをみんなに分ち合いと思います。

さて、コロナ禍を見据えて、1学期の始業式、そして終業式にもある言葉を伝えました。もう一度だけ繰り返したいと思います。

プロ野球の野村克也さんの言葉で「**時間はみんなに平等にある。時間をどう使うかで人は人生が変わる**」 コロナは、今まで以上に、自分だけの時間を与えてくれた。それをどう活かすか、どう使うかで、大きな差がつくように思います。「**時間はみんなに平等にある。時間をどう使うかで人は人生が変わる**」 この1年を振り返ってみてください。どうでしたか？ 自分のために時間を使って何かを始めることができましたか？ コロナ禍ではあったけれども、成長することはできたのか？ 勉強だけではなく、人から言われなくても自分で考えて、取り組むことが出来るようになったのか？

自分の不甲斐なさや努力不足を、人のせいにしても、コロナのせいにしても、何も始まらないし前へは進めません。苦しいことやしんどいこと、面倒くさいことから逃げないで、やっぱり努力する、挑戦することが大切です。これからも家族をはじめ、色々な人が必ず助けてくれるけれども、忘れてはならないことは、自分で心を動かし自分が動かないと何も始まらない、最後にやるのは自分自身だということです。

ここで、チョコレート専門店「Dari K」を運営されている吉野社長のお話を少し紹介したいと思います。いまや京都市内では超有名店になりましたが決してお店の宣伝ではありません。吉野社長は、慶応大学からオックスフォード大学大学院を卒業後、大手外資系証券会社に勤務されましたが、バックパッカーとして海外旅行を重ねる中、インドネシアと出会われます。そこで、ガーナやアフリカ諸国に次ぐカカオ豆の生産地であるイン

ドネシアのカカオが、どうして日本に輸入されないのかという疑問を抱き、その理由がカカオの品質にあることに気付かれます。現地の方々が頑張っ育てられたカカオは低価格で取引され、結果として労働賃金も低く、非常に貧しい生活実態であること、当然のことながら作業を手伝う子どもたちも十分な教育を受けることが出来ない負の連鎖。そこで、吉野さんは、すぐに退職、証券会社で培ったノウハウを活かし、カカオの生産、加工、商品化、販売のすべてを自分で手掛けることを決心されます。すぐにインドネシアに渡り、現地の農民とのコミュニケーションを取りながら、必ずや労働賃金のアップと豊かな生活を保障することを説得され、カカオの品質向上のための土壌改良、栽培手法を自ら勉強しながら現地の方々とともに生産に励まれました。同時に、そのカカオを加工、商品化するために「Dari K」の开店準備を京都でされました。4年前には何とか売れてます、と言われていましたが、今や大手百貨店、東京にも出店されているようで、現地のカカオ生産も軌道にのり、現地の農民の間ではまさに救世主として尊敬されておられます。驚くべきは、退職された時点では、カカオやチョコレートに関する知識は一切なく、ネットで調べてられていたということです。その時、吉野さんがお話しされた言葉が「言い訳をしないで、努力すること。失敗も成功もプラスであり、挑戦することに価値がある。大人が挑戦する姿勢を見せることが大切である。」そしてもう一つ、「他人を変えるのは難しいけれど、自分自身は変えられる。だから言い訳しないで、挑戦する。」実践されてきた方の説得力に衝撃を受けたことを覚えています。パシヤワール会の中村ドクターに通ずる「志」を感じています。

最後になりますが、すでに多くの3年生が大学や短大・専門学校、そして就職に合格してくれました。本当におめでとう。けれど合格がゴールではありません。ようやくスタートラインにたったばかりです。それぞれの道でほんまもんのプロになれるよう、卒業までしっかりと取り組んでください。また、1/16、17は大学入学共通テストで今年は77名が受験してくれます。コロナはもちろん風邪等にも十分気をつけて、本番まで頑張り抜いてください。必ず道は開ける、心から応援しています。

明日から冬季休業期間となりますが、京都府の感染者数も100名を超えました。

日本は、外国に見られるような強制的なロックダウンではなく、ひとり一人の責任ある行動において、感染拡大を防ぐことが根底にあります。それだけひとり一人が信頼されている国民であることに誇りをもてるよう、明日からも自覚と責任ある行動をもって、自らと家族や大切な人の感染予防に努めて欲しいと思います。

1/8の始業式に、またみんなで元気に3学期のスタートが切れるよう、この一年をしっかりと振り返って、心機一転、また新たな気持ちで新年を迎えてください。以上で、式辞とます。